

## 時間経過に敏感な化学物質 - そして50件のCCPSのPSB による教訓の共有

2006年1月



多くの化学物質には「保存期限」があり、保存時間の経過とともに不安定にまたは反応性を持つようになる。例えば、一部のモノマーは、重合を防止するための抑制剤を必要とし、一定時間後には抑制剤を消費し切る。そのような化学物質の製造業者は、通常、物質の「保存期限」を示しており、その物質は保存期限前に使用するか、または適切に処分することが重要である。

時間に敏感な化学薬品が長時間保管されていたため、ある企業では2つの「ニアミス」ードラムの膨らみや破裂一が発生した。

幸運にも負傷者が出ず、被害は軽微であった。同社はニアミスの報告と共有のための優れたシステムを備えていて、これらの事故報告は組織全体で共有されていた。別の工場が報告書を見て、すぐに倉庫内のすべての材料を確認をした。その工場では、有効期限を過ぎて重合し始めた同じ物質の4個のドラム缶を発見した。幸いにも、ドラムのどれも破裂していなかった。その工場は安全に物質を廃棄し、潜在的な爆発や負傷者の発生を回避した。



### 知っていますか？

- 一部の反応性化学物質は、指定された日付までに使わなければならない。そうしないと、不安定になるだろう。
- 他の化学物質は、経時的に不純物(過酸化化物など)を蓄積し、また不安定になる可能性がある。
- 物質安全データシート(MSDS)には、物質が時間の経過とともに不安定になるか、特別な保管条件が必要かどうか書いてあるだろう。
- 「ニアミス」の報告と調査は、将来の事故を防止するための優れた方法である。
- 2005年12月のビーコンは第50回の号で、11ヶ国語で数千人の人々と安全上の事故の教訓を共有した。

PSIDメンバーは無料の検索: Reactive Chemicals参照のこと

### あなたにできること

- 保管中に作業場内の化学物質が不安定になることがあるかどうかを知る - MSDSを安全専門家と確認したり、供給元に聞くこと。
- 時間に敏感な物質を管理するための会社の手順を理解し、それに従うこと(管理手順が手元にあることも確認すること!)。そのような物質はあまり長く保管するべきではない。
- 将来の事故を防ぐために、すべての事故とニアミスを報告すること。
- 皆で貴社の経験を学ぶことが出来るよう、貴社の事故をCCPSビーコンに提供すること、そしてビーコンを読んで共有すること!



**経験から学ぶこと - 事故やニアミスを報告し、共有すること!**

• AIChE © 2006. 不許複製。非営利的な教育目的のための複製は奨励する。ただし、販売目的のための複製は、CCPSの同意書面なしには禁止する。連絡先: [ccps\\_beacon@aiche.org](mailto:ccps_beacon@aiche.org) または 212-591-7319